

## プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム 優秀講演賞を受賞！

李 春鶴 助教

社会環境デザイン工学専攻の李春鶴助教は、平成二十年九月二十日から二十一日まで、香川県サンポート高松で開催された第17回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムで優秀講演賞を受賞した。

本シンポジウムは、PC技術に関する学術シンポジウムとして、プレストレストコンクリート技術協会の主催で毎秋開催されるものである。シンポジウムでは、プレストレストコンクリートに関する調査・研究・設計・施工・維持管理等、多方面にわたる最新技術が発表され、研究者・技術者の研鑽および交流のため多くの参加者が参加された。研究発表のための論文投稿には査読があり、例年、レベルの高い研究発表が行われる定評のある大会である。この大会において、論文・報告内容に加え、講演ならびに質疑が簡潔明瞭で特に優れた50歳未満の者を対象として、優秀講演賞が授与される。本年は、13名が受賞された。

今回の受賞は、当研究室の池田正志技術専門職員、辻幸和教授との共著論文である「異なる品質のPCグラウトを有するPPCはりの力学的性状」が受賞対象となった。本研究は、厳しい材料・施工条件に適用できる高性能・高品質のPCグラウトの開発に関する研究である。本研究では、PC鋼棒の防食の観点から、セメントの一部分を異なる比表面積の高炉スラグ微粉末で置換して、異なる品質のPCグラウトを製造し、その品質がPPCはりの力学的性状に及ぼす影響要因の抽出を目的とした。異なるコンクリート強度や異なるプレストレス導入量などのパラメータを取り上げ、部材レベルの載荷実験を行い、その力学的性状を比較・検討することで、異なる品質のPCグラウトを有するPPCはりの力学的現象の解明と高性能・高品質のPCグラウトの開発に大きく貢献した。

